

名古屋市が加子母で「名古屋城の森づくり in 中津川」を開催します

400年前、名古屋城築城の際に25,000本のヒノキが市内から伐り出され、また、平成30年完成「名古屋城本丸御殿」の復元にも木曽・裏木曽のヒノキが使われています。本丸御殿の完成を機に上流域への恩返しとして、名古屋市は、名古屋市民による森づくりを続けており、今年も森づくり活動を行います。

■日時 令和7年11月9日（日）10時00分から16時30分

■場所 福崎の森（加子母地区内 市有林 ※案内図あり）

①ヒノキ苗の植栽 中津川市加子母 福崎の森（市有林加子母）

②裏木曽御用材伐採式跡地の見学 中津川市加子母（裏木曽古事の森）

■参加者 名古屋市民 40人、名古屋市職員及び地元関係者 20人 合計 60人

■内容 10:00 開会式

10:30 ①地元関係者とともに植樹活動（ヒノキの苗を一人2本植栽します）

11:40 作業終了

12:00 昼食（朴葉ずし、五平餅、田舎汁でおもてなし）

13:00 ②護山神社～裏木曽御用材伐採式跡地の見学

15:55 お買い物（道の駅花街道）

■主催 名古屋市

■その他

- 平成20年から始まった「名古屋市民の森づくり」は、10年間で10,000本を植栽して事業を完了していたが、「林業は植えて終わりではない」との考え方から、過去に植栽し動物の食害にあった箇所の補植作業を行っている。
- コロナ禍で2年程は森づくり活動が中止されたが、その間も森の大切さを学ぶ講座などをリモートで行い17年間続いている。
- 中津川市は、市有林をフィールドとして提供するとともに、地域住民との交流や特産品に触れていただく機会を提供している。

お問い合わせ先

農林部 林政課 担当者：桂川
電話：0573-66-1111（内線4031）